

テクニカル分析を基礎から学ぶ



テクニカルアナリスト資格 第1次通信教育講座のご案内

第41回

受講申込締切 ▶ 2025年11月12日(水)

開講期間 ▶ 2025年12月～2026年4月(5ヶ月)

資格試験予定 ▶ 2026年7月予定



国際テクニカルアナリスト連盟(IFTA)加盟
日本テクニカルアナリスト協会®
特定非営利活動法人(NPO法人)



協会HP <https://www.ntaa.or.jp>



ご案内

テクニカルアナリスト資格には第1次資格・第2次資格・第3次資格の3段階があります。今回のご案内は、第1次資格取得のために必要な「第1次通信教育講座」に関するものです。当講座では証券投資に関する基礎知識とテクニカル分析の基本的な考え方を学んで頂きます。受講修了者には、第1次資格試験受験資格が与えられます。合格し協会正会員になりますとCMTA®の資格が与えられます。

第1次通信教育講座の募集概要

- ①募集期間：2025年10月1日(水)～11月12日(水)
- ②開講期間：2025年12月～2026年4月（5ヶ月間）
- ③受講料：55,000円(税込) 募集締切日までにお振込ください。
- ④申込方法：当協会ホームページよりインターネットでお申込ください。
会社単位でお申込みを希望される場合、当協会事務局までご連絡ください。
- ⑤振込先：三菱UFJ銀行 日本橋支店 普通預金 No.2017789
特定非営利活動法人 日本テクニカルアナリスト協会
トクヒ)ニホンテクニカルアナリストキョウカイ
※振込手数料は申込者負担となります。
- ⑥中途解約：受講者が、やむをえない事由により受講をキャンセルした場合の取扱は以下の通りです。
 - a.テキスト発送前の申出は全額返金
 - b.テキスト発送後の申出は協会の規定に基づき返還します。

第1次通信教育講座の概要

通信教育テキストは、4分冊からなっており、当協会より受講者の皆様へ開講前に送付します。
第1次資格試験に関しては以下のテキストに沿った形で出題が行われることにご留意ください。

第1分冊 テクニカル分析の定義・歴史、チャートの種類、トレンドラインとパターンについて学びます

- 1.テクニカル分析とは 2.テクニカル分析の歴史 3.テクニカル分析に対する批判
- 4.チャートの種類と構成要素 5.トレンドとトレンドライン 6.中長期パターン 7.短期パターン

第2分冊 テクニカル分析における伝統的手法として、日本の手法や様々な理論・手法について学びます

- 8.ローソク足 9.ダウ理論 10.エリオット波動理論 11.ギャン理論 12.サイクル分析
- 13.ポイント・アンド・フィギュア 14.カギ足 15.新値足 16.一目均衡表 17.相対株価

第3分冊 汎用的手法として主に用いられているテクニカル分析を学びます

- 18.移動平均 19.バンド 20.オシレーター 21.出来高 22.市場趨勢 23.その他の指標

第4分冊 投資対象と市場、テクニカルアナリストとして知っておくべきルールについて学びます

- 24.主な投資対象と市場 25.国内市場と海外市場 26.市場間分析 27.業種循環
- 28.代表的な指標 29.投資家心理 30.市場心理 31.行動ファイナンス 32.伝達ショック
- 33.参入と手仕舞い 34.投資スタイル 35.時間枠 36.金融商品取引法 37.その他のルール



NTAA Web教育システム

(NTAA Web Education System : NWES)

Web通信!

NTAA Web教育システムについて

日本テクニカルアナリスト協会(NTAA)はNTAA Web教育システム(NTAA Web Education System : NWES)を通して、通信教育講座をWebにて提供しています。

第1次通信教育講座

通信教育テキストは、4分冊から構成されており、当協会より受講者の皆様へ開講前に送付します。練習問題は全てWebでの解答となります。月初めに練習問題が1回ずつ(全5回)セットされますので、テキストに沿って勉強を進められます。演習・テキストもWeb閲覧可能です。
※Webのみの受講となります。紙媒体での配信は行いません。

通信教育講座練習問題解答

通信教育講座リストの練習問題は締切日までに解答を送信する必要があります。該当するリストをマウスでクリックすると、練習問題が画面に現れます。

第1次通信教育講座受講者向けサービス

Web通信教育

日本テクニカルアナリスト協会認定テクニカルアナリスト(CMTA®)の資格取得を目指す皆様にWEBによる通信教育を提供しています。

NTAA Web教育システムについて・第1次通信教育講座

通信教育講座練習問題解答・通信教育講座練習問題解答確認

Chart

第32回第1次通信教育講座練習問題を指定した例

練習問題	開始日	締切日	状況	問題数	解答数	未解答	正解数	正解率
第32回第1次通信教育講座 第4回練習問題	2021/09/01	2021/09/30	終了(解答確認)	48	0	48	---	---
第32回第1次通信教育講座 第5回練習問題	2021/10/01	2021/10/29	終了(解答確認)	50	0	50	---	---
第32回第1次通信教育講座 第6回模擬問題	2021/12/16	2021/12/24	終了(解答確認)	50	50	0	28	56
第32回第1次通信教育講座 第7回模擬問題	2022/01/01	2022/01/15	終了(解答確認)	50	50	0	26	52
第32回第1次通信教育講座 第8回模擬問題	2022/02/01	2022/03/15	受講中	50	0	50	---	---

番号	章:節	第32回第1次通信教育講座 第8回模擬問題	解答
1	テクニカル分析とは:目的	投資において、多くの投資家が同様の判断をすれば需給関係が固定化し、株価も変化しにくくなると考えられる。	
2	テクニカル分析とは:目的	金利や為替レートの変化、天候不順、国際関係の変化なども企業業績や商品需給に直接的に影響するが、間接的に影響することはない。	
3	テクニカル分析とは:種類	サイクル分析は、不規則な価格推移を見出し、その特性を調べる分析手法のことをいう。	
4	テクニカル分析とは:種類	出来高とは、市場で売買が成立した数量のことである。株式市場では売買代金ともいい、同じ値である。	

通信教育講座練習問題解答確認

各練習問題で解答した結果は締切日以降(状況列で「終了(解答確認)」と表示されます)に答え合わせを行うことができます。

Chart

第32回第1次通信教育講座練習問題の解答結果

番号	章:節	問題/解説	正解	解答	本文
1	テクニカル分析とは:種類	トレンドとは、価格がしばらくの間、上昇・下降方向に推移することであるが、横ばいは含まれない。 誤問題です。 正解は「トレンドとは、価格がしばらくの間、上昇・下降・横ばいなど一定の方向に推移することである。」です	誤	未	
2	テクニカル分析に対する批判:効率的市場仮説	マイケル・ジェンセンは、優秀なアナリストが市場平均に勝てていないことから、ストロング・フォームが成立している証拠とした。 正問題です	正	未	

各問題について該当するテキストを表示したい場合は、本文列のテキストアイコンをクリックすると、テキストの内容が画面に表示されます。

Web演習問題

第1次通信教育講座の受講者は、日本テクニカルアナリスト協会認定テクニカルアナリスト(CMTA®)資格試験に向けて、ご自身で演習問題を解くことにより試験対策を行うことができます。Web演習問題ではテキストの各セクションにおいて演習問題を解くことができ、解答結果のサマリーを表示することができますので、資格試験に向けた効率的に自習を行うことが可能です。

またWeb演習問題は通勤・通学時点での利便性を考慮し、携帯端末でも容易に行えるようにしています。

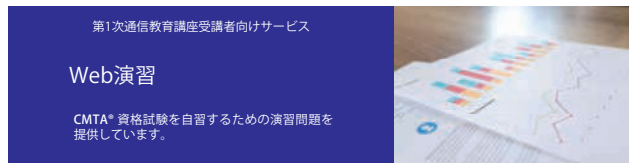
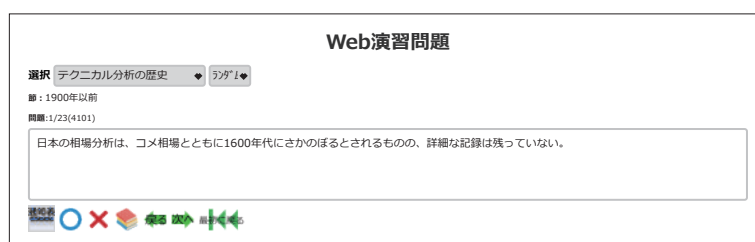


Chart Web演習画面



Webテキスト

第一次通信教育講座テキストをWebで閲覧することができます。



NWESを使用する際の注意点

NWESはパソコンでの利用を想定しており、利用する際のブラウザとしてChromeを推奨しています。携帯端末での利用についてもChromeのインストールをお願いいたします。



参考

テクニカルアナリスト資格の全体像

		第1次資格 CMTA [®]	IFTA 第2次資格 CFTe [®]	IFTA 第3次資格 MFTA [®]
通 信 教 育	受講資格	不問	CMTA [®] 資格保有者かつ 当協会会員	
	募集日時	年2回 4月～5月・10月～11月	年1回 2月～3月	
	受講期間	年2回 6月～10月・12月～翌年4月	年1回 4月～8月	
	練習問題	全5回 Web	全5回 筆記	
	受講料	55,000円(税込)	55,000円(税込)	
資 格 認 定 試 験	受験資格	上記講座の受講者 ※初回受講後3年以内	CMTA [®] 資格保有者かつ 上記講座の受講修了者 ※初回受講後3年以内	CFTe [®] 資格保有者かつ 当協会会員
	試験形式	○×式(マークシート) 120分	小論文形式 180分	要約提出と 本論文提出
	試験時期	年2回 1月・7月	年1回 11月	年2回 4月・9月
	受験料	11,000円(税込)	22,000円(税込)	950米ドル
	資格名	日本テクニカルアナリスト協会 認定テクニカルアナリスト 略称 CMTA[®] (Certified Member of The Nippon Technical Analysts Association) NTAA 2,370名	国際テクニカルアナリスト連盟 認定テクニカルアナリスト 略称 CFTe[®] (Certified Financial Technician) NTAA 481名	国際テクニカルアナリスト連盟 検定テクニカルアナリスト 略称 MFTA[®] (Master of Financial Technical Analysts) 172名のうちNTAA 46名
到達目標		テクニカル分析に関する 基本的な知識および 使用方法を習得している	テクニカル分析を用いた 適切な現状判断と投資判断が でき、マーケット・レポートが 作成できる	国際テクニカルアナリスト 連盟の知識データベースに 新たな視点を加える

参考



第1次通信教育講座開講にあたって

※資格保有者人数は、2025年3月31日現在です。

※受講料および受験料は、消費税10%を含んでおります。

※CFTe[®]のIFTAへの国際資格登録料200ドルは協会負担です。

日本テクニカルアナリスト協会について

マーケットに向き合う時に大切なことは、相場を取り巻く環境を知ることと、相場の方向性および売買のタイミングを知ることの双方です。前者はファンダメンタル分析が向いており、後者はテクニカル分析が向いているといわれます。的確な市場分析には両者が不可欠であり、「車の両輪」と言われるゆえんです。1人でも多くの方に「テクニカル分析」の知識を理解していただき、健全なマーケットの発展に寄与していただくことを期待したいと願い、テクニカル分析の教育と普及啓発を目的として日本テクニカルアナリスト協会 (NTAA) は設立されました。当協会は、国際テクニカルアナリスト連盟 (IFTA) を創設した協会の1つでもあります。

第1次通信教育講座開講にあたって

日本テクニカルアナリスト協会は、1998年より資格制度を開始しました。同時に、受験資格として本通信教育講座の受講を義務付けております。

我が国のテクニカルアナリスト資格試験制度は、国際機関であるIFTAとNTAAが協力しながら行っています。合格者に与えられるテクニカルアナリスト資格は、国際資格であっても国家資格ではありません。

テクニカルアナリスト資格試験には3段階があります。第1次資格 (CMTA[®]) 試験と第2次資格試験は、NTAAが日本語で行い、第2次資格試験の合格者は、IFTAへ登録することにより国際資格CFTe[®]として認定されます。第3次資格試験は、IFTAが英語で行う論文試験です。

本通信教育講座はCMTA[®]取得のためのものです。資格試験を受験するためには本通信講座を受講し修了することを義務づけております。本講座受講修了後、3年間は受験資格が与えられますが、極力早期に受験していただき、合格されるようお勧めします。また、CMTA[®]取得後はなるべく早めにCFTe[®]取得にチャレンジされ、さらに高いステージへとお進みください。単にテクニカル分析の用語の意味を理解するだけでなく、その知識を活用した応用編へと進まれることが大切なことと考えるからです。



国際テクニカルアナリスト連盟 (IFTA) 加盟
日本テクニカルアナリスト協会[®]
特定非営利活動法人 (NPO法人)

〒103-0026
 東京都中央区日本橋兜町3-3
 TEL: 03-5847-2231
 平日 9:00~17:00
 URL: <https://www.ntaa.or.jp/>
 E-Mail: office@ntaa.or.jp

